



Japan Writing Instruments  
Manufacturers Association

# 日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-30-6  
TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 平成17年5月1日 14号

## 16年度事業を計画通り実施

日本筆記具工業会の総務、流通、調査研究・広報、技術、国際の5つの委員会は、平成16年度の事業計画をほぼ計画通り実行しました。各委員会の1~3月の活動を報告します。

### <委員会・部会報告>

#### 総務委員会(委員長：今井正芳副会長) 2/17

平成17年度の事業計画は基本的に16年度のそれを踏襲することとした。

各委員会の次年度事業計画(案)の取りまとめに入った。

任期満了に伴う次期役員改選原案ならびに委員会組織改正案について協議した。

「身近なJIS製品の歴史展」について経済産業省から事務局に協力依頼があり、協議を行ったが、協力することで意見をまとめるには至らなかった。

#### 流通委員会(委員長：堀江圭馬副会長)

<お客様相談窓口連絡会> 神田勇部会長 2/24  
連絡会メンバーに交代があった。新任は、遠井孝夫(ステッドラー日本・株)、神原和文(株・トンボ鉛筆)、住谷伸行(サンスター文具・株)。=50音順=

調査研究・広報委員会で検討している工業会ホームページ掲載情報の内容について協議した。

個人情報保護法について情報交換した。

平成17年度活動計画について協議した。基本的には前年度のそれを踏襲することとした。

#### 調査研究・広報委員会(委員長：石川真一会長)

ホームページ「お役立ち情報」作成小委員会を1/25、2/4、2/28に開催した。3月28日「お役立ち情報・ボールペン」をホームページにアップした。(右、お役立ち情報トップ頁)

JWIMA ホームページより



<http://www.jwima.org/top.html>

#### 技術委員会(委員長：数原英一郎副会長) 3/23

<鉛筆部会・シャープ部会合同小委員会> 3/17  
JIS S 6005、S 6006の改正原案作成(17.8.1~)に先立って、鉛筆しんおよびシャープしんの性能を評価する鉛筆濃度測定器(新レコード式画線器)に用いる濃度試験用紙の調査を開始した。

<マーキングペン JIS/ISO 部会> 3/23  
JIS S 6037 マーキングペン改正原案を作成し、日本規格協会に提出した。主な改正点は次の通り。

- ・適用範囲を水性マーキングペンのうち「筆ペン」は従来通り適用除外とし、「ライン用に作られたもの」を適用範囲に加えた。
- ・材料及び構造に関して、環境に対する配慮や安全性に対する更なる配慮を入れた。
- ・有害物質の規定を油性及び水性の一般用にも適用することとした。
- ・キャップの安全要件をJIS S 6060に適合しなければならないとした。
- ・チズル形状のペン先を用いた水性マーキングペンに筆記距離の規定を設けた。

- ・ 耐光性の「視認できる」レベルを「汚染グレースケールの4号以下」と解説に入れた。
- ・ 耐水性に用いる「清水」という不明確な表現を「イオン交換水又は蒸留水」に改正した。

#### < ボールペン JIS/ISO 部会 > 3/23

JIS S 6039 油性ボールペン及び JIS S 6054 水性ボールペン及びレフィル改正原案を作成し、日本規格協会に提出した。主な改正点は次の通り。

- ・ 全体の構成を JIS S 6061 に整合させた。
- ・ JIS S 6039 ボールペン及び中しんの規格名称を「JIS S 6039 と油性ボールペン及びレフィル」とし、油性・水性・ゲルが明確に識別できるようにした。
- ・ 油性ボールペンの定義及び規定
- ・ 水性ボールペンの定義及び規定
- ・ 筆記線幅及びボールの直径
- ・ インキの品質に EN71-3 の有害物質(8 元素)を新たに規定した。

上記、技術委員会及び各 JIS/ISO 部会の 17 年度計画について協議した。

EWIMA 技術分科委員会会議に出席した。

ことし 1 月 28 日、フランクフルトで開催された標記の会議に技術委員会と国際委員会からなる代表が出席した。報告は下記、国際委員会にて。

#### 国際委員会(委員長:小川洋平副会長) 3/17

国際委員会は、技術委員会の西本洋二副委員長と塩井恵子委員と共に 1 月下旬フランクフルトを訪問。ペーパーワールド 2005 を視察し、EWIMA 技術委員会の会議に出席する等、情報交換を行った。

ペーパーワールド 2005 の状況報告

今年のペーパーワールドは、集客強化のため 30 年続いた慣習を改め、水曜をオープンにして週末に向けての動員を図ったが、実績は前年より微減だった。とくに来場者の多くはオフィスサプライ館に関心があり、筆記具館は低調だった。

国際規格適正化事業を推進

ゲルインキボールペン JIS 規格を ISO 規格(国際標準化機構)として提案するための継続的な活動を行った。2005 年 1 月 28 日、EWIMA(欧州筆記具工業会)技術分科委員会会議に出席し、懸案の事項について協議した。小川洋平委員長(国際委員会)、伊藤真吉副委員長(同)、西本洋二副委員長(技術委員会)、塩井恵子委員(同)が出席した。

EN71-9、EN71-10、EN71-11 策定について。14 歳未満の子どもが使うとみなされるものの安全性に関する規格原案が最終段階に至った。71-9 は化学物質、71-10 はサンプルの採り方、71-11 は分析方法を規定している。この内、含まれてはならない化学物質を規定した EN71-9 規格はすでに公表された。

色鉛筆 D4303 規格改正について

ASTM (米国試験材料協会)のアーティスト用色鉛筆、画材の耐光性に関する D4303 規格の改正原案が最終段階に入り、EWIMA 事務局によるとパブリックコメントを募集している。事務局が原案を翻訳し発行した。(ご希望は事務局まで)

#### 知的財産部会・全文協 合同活動を実施 【予告】

4 月から 7 月にかけて、本工業会の技術委員会・知的財産部会と国際委員会、並びに社団法人全日本文具協会は合同して次の活動を行う計画です。皆様のご協力をお願いします。

筆記具工業会・全文協合同ミッション

「文具知的財産・貿易発展交流会」

両団体は円滑な民間貿易関係を目指して、4 月 26 日から 5 月 1 日にかけて中国を訪問します。上海では公証行政管理局(AIC)並びに税関を視察。北京では同国最大の業界団体中国制筆協会との交流に加えて、税関並びに中国文具国際見本市(中国文化用品商品交易会)を視察する計画です。

ISOT2005にて模倣品対策事業を実施します

両団体は、ISOT2005(7/7~7/9、於・東京ビッグサイト)の会期中、模倣品対策事業を例年通り実行する計画です。

「模倣品対策セミナー」開催(7/8)

「真正品、模倣品比較展示コーナー」設置

「模倣品対策相談コーナー」設置

「模倣品侵害実態調査」実施(7/7)

「会場視察」を警察庁に要請

第16回 国際 文具・紙製品展 ISOT2005 / 2005 年7月7日(木)8日(金)9日(土) / 東京ビッグサイト / 主催・リードエグジビションジャパン株式会社 / 特別後援(社)全日本文具協会

# 新JISマーク制度について

平成 17 年 3 月 28 日

経済産業省 産業技術環境局基準認証政策課

## 新 JIS マーク制度の特徴

### (1) 国際統合化した制度への転換によりグローバルな取引へも貢献

これまでの JIS マーク制度では、事業者は、国から我が国独自の方法によって認定を受けて、JIS マークを表示してきました。新しい制度では、事業者は、国に登録された民間認証機関の認証を得て、新しいデザインの JIS マークを表示するものへと変わります。

国は、認証を行おうとする民間の認証機関が、国際的な基準(ISO が定めた基準。以下同じ)に合致していることを確認して、初めて、JIS マーク制度で認証業務を行う機関として登録をします。登録された認証機関は、事業者からの認証申請を受け、国際的な基準に基づいて、製品の JIS(国際標準と統合的な規格)への適合性の確認(製品試験)と事業者の品質管理能力を審査して、認証を行います。加えて、認証機関は、認証を与えた事業者に対して、国際的な基準に基づき定期的な検査を行うことによって、品質の維持を継続的に確認していきます。

このように新しい JIS マーク制度では、新 JIS マークは、国際的な基準に基づいて品質を保証していく意味を持つことになり、国内取引において、製品の品質に信頼を付与する「しるし」として活用されることとなります。また、経済活動のグローバル化の中で、新 JIS マークは、国内企業や消費者と海外企業、さらには、海外の日系企業と現地企業や第三国の企業との取引においても、品質への信頼を付与するものとして活用されることが期待されます。

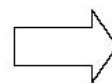
### (2) 多様なニーズを反映した利便性の高い制度

今回の改正により、国が指定した製品に限って JIS マークの表示を認めていた「指定商品制度」が廃止され、JIS の製品規格が整備されたすべての製品について JIS マークが表示できるようになります。例えば、高齢者・障害者対応の分野など、制度利用者や消費者からのニーズを踏まえ、認証の対象となる製品規格を整備することにより、今後、JIS マークが表示できる製品がより広がっていく制度となります。

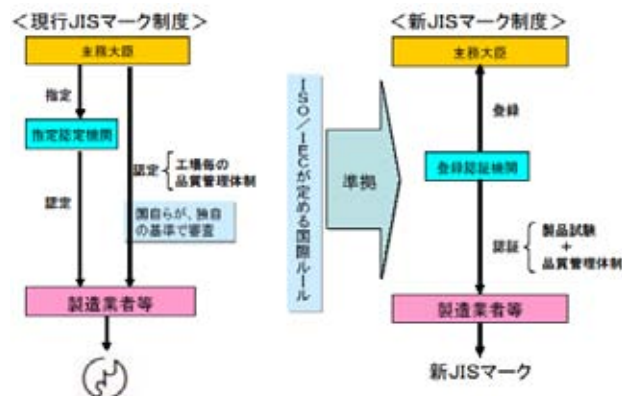
さらに、各製品に付された JIS マークがどのような意味を表しているのか、利用者の皆様が情報に容易にアクセスできる環境を整えることにより、さらに活用される制度としていきます。



現行 JIS マーク



新 JIS マーク



## 工業会からのお知らせ

ボールペン・マーキングペンの製造業に中小企業信用保険法第2条第3項第5号に係る「特定業種」の指定が平成17年6月末日まで適用されます。「特定業種」に指定されますと、金融機関から借入をする際に信用保証協会の「特例保証」を受けられます。特例保証を含む保険限度額は、普通保険4億円、無担保保険1億6千万円、特別小口保険2,500万円です。(お問い合わせは事務局まで)

### < 総会のご案内 >

「第4回通常総会」は、5月12日(木)午後5時、上野精養軒にて開催します。例年の通り、総会終了後に懇親会を実施します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 2004年【年間】の出荷・輸入・輸出

2004 / 01 ~ 2004 / 12

繊維・生活用品統計(国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額はすべて百万円)

出 荷	単位	2004年年間		2003年年間		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	463,255	29,789	483,710	30,687	-4.2%	-2.9%
ボールペン(水性)	千本	818,505	34,961	894,101	38,750	-8.5%	-9.8%
マーキングペン	千本	743,140	39,039	730,978	38,773	1.7%	0.7%
シャープペンシル	千本	250,265	17,829	240,117	17,368	4.2%	2.7%
黒しん鉛筆	gross	2,007,223	5,541	1,961,183	5,648	2.3%	-1.9%
色しん鉛筆	gross	705,331	2,720	752,991	2,937	-6.3%	-7.4%
シャープしん	千本	3,448,841	6,014	3,504,985	6,163	-1.6%	-2.4%
修正液	千本	50,317	4,527	52,050	4,871	-3.3%	-7.1%
修正テープ	千個	86,792	7,707	89,519	8,634	-3.0%	-10.7%
クレヨン・パス	千本	113,818	1,664	102,871	1,604	10.6%	3.7%
水彩絵の具	千本	60,611	2,629	66,327	2,804	-8.6%	-6.2%
合計金額			152,420		158,239		-3.7%

## 日本貿易統計

輸 出	単位	2004年年間		2003年年間		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	242,505	8,676	265,567	9,889	-8.7%	-12.3%
ボールペン(水性)	千本	679,363	28,677	704,205	30,144	-3.5%	-4.9%
マーキングペン	千本	314,302	13,231	311,214	13,024	1.0%	1.6%
シャープペンシル	千本	165,231	7,645	159,072	7,701	3.9%	-0.7%
万年筆	千本	6,498	820	5,752	864	13.0%	-5.1%
以上のセット品	千本	548	102	741	115	-26.0%	-11.4%
黒しん鉛筆	gross	135,990	282	112,207	263	21.2%	7.4%
色しん鉛筆	gross	32,790	97	60,874	127	-46.1%	-23.6%
ボールペン用中芯	千本	226,102	3,006	204,074	2,900	10.8%	3.7%
マーキングペン用ペン先・ポイント	千本	3,913,355	6,814	3,748,982	6,385	4.4%	6.7%
シャープ部品・付属品	Kg	181,708	947	170,367	938	6.7%	0.9%
万年筆・ボールペンの部分品	Kg	1,677,354	4,381	1,632,573	4,624	2.7%	-5.2%
シャープしん(鉛筆しん含む)	Kg	467,840	2,478	463,261	2,725	1.0%	-9.1%
クレヨン・パス	Kg	164,807	391	192,078	386	-14.2%	1.4%
合計金額			77,547		80,085		-3.2%

## 日本貿易統計

輸 入	単位	2004年年間		2003年年間		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	236,426	6,627	205,857	5,864	14.8%	13.0%
マーキングペン	千本	186,587	2,934	222,314	2,789	-16.1%	5.2%
シャープペンシル	千本	38,970	1,050	38,533	1,087	1.1%	-3.4%
万年筆	千本	596	1,146	1,354	909	-56.0%	26.0%
セット品	千本	4,259	149	2,401	154	77.3%	-3.5%
黒しん鉛筆	Kg	564,264	407	563,644	410	0.1%	-0.7%
色しん鉛筆	Kg	1,290,707	937	1,613,492	916	-20.0%	2.3%
ボールペン用中しん	千本	37,522	269	40,966	350	-8.4%	-23.2%
ペン先及びポイント	千本	154,184	429	94,356	251	63.4%	71.1%
ボールペン又はシャープの部品・付属品	Kg	862,532	1,859	773,788	1,696	11.5%	9.6%
ペン軸、その他の部分品	Kg	187,945	279	127,317	259	47.6%	7.7%
しん	Kg	350,830	387	318,368	386	10.2%	0.2%
パステル・チョーク	Kg	1,259,580	622	1,238,229	571	1.7%	8.9%
合計金額			17,095		15,645		9.3%